

ジェトロ 地域・分析レポート

特集：各国が描く水素サプライチェーンの未来

水素製造における高い潜在性を秘めるインド

別添表1：インドの水素関連政策・目標

目標		水素の製造方法	水素の利用用途／目標	水素戦略	主な所管省庁
製造／供給	利用				
<p>2030年までに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間500万トン以上のグリーン水素製造能力を開発し、これに伴い、約125GWの再生可能エネルギー容量を追加する。</li> <li>・総額8兆ルピー以上の投資を行う。</li> </ul>	<p>インドの水素需要は、2020年で年間600万トンに達しており、2050年には約5倍の2,800万トンまで急増すると予想。このうち8割はグリーン水素により賄われることを想定。</p>	<p>再エネ+電解槽</p>	<p><b>【肥料】</b> 肥料用アンモニアの輸入削減  <b>【製鉄】</b> 石油精製の石炭輸入削減  <b>【運輸】</b> 燃料電池バスなどの普及によるクリーン輸送の実現</p>	<p>National Green Hydrogen Mission (2023)            Harnessing Green Hydrogen (2022)</p>	<p>インド再生可能エネルギー省</p>

出所：インド再生可能エネルギー省、インド資源エネルギー研究所（TERI）などからジェトロ作成